



PTA広報委員会発行
第126号



校長 能登 啓児
の 登 能

『できる方法を考え』 『やってみよう』

『できない理由を探すひと』 できる方法を考えるひと』節目節目で生徒や教職員にどちらになるかと問いかける言葉です。自分にとっては、考えることが面倒になったり、楽な方へと流されたりしないための自制(自省)とする防波堤のような言葉です。

難題を突きつけられたとき、忙しくて手が回らないとき、できない理由を探すことは簡単です。「制度的に無理だから」「今までやったことがないから」…。当然、できないことが正しい判断となることもあります。でも、多くの場合は言い訳になります。

対して、できる方法を考えることは簡単ではありません。「これなら出来るかも」と、やってみつけた方法もうまくいくとは限りません。もちろん出来たときの成功体験は貴重な財産です。でも、うまくいかなかったからといって無意味なわけではありません。失敗したとしても、その過程で得る経験は次のチャレンジへの大きなスキルとなります。

「うまくいかなかったけど、周囲との関係性が深まった」「あの失敗が次の成功へのモチベーションになった」なんてことは本当に良くあることです。

だから冒頭の言葉とともに、まずは『やってみよう』と声を掛けることを大切にしています。「チャレンジして失敗することを怖れるよりも、何もしないことを怖れる」ホンダ自動車の創業者である本田宗一郎の言葉です。

四月に校長として着任しました。前任校は上川管内の町立高校である南富良野高校です。様似町出身、趣味は季節を問わず山歩きをすることです。どうぞよろしくお願いいたします。

札幌丘珠高校は来年度に開校50周年を迎えます。「できる方法を考える」ことを大切にしながら、保護者の皆様や地域と手を携え、新たな丘珠高の歴史をもにつくっていきたいと思っています。

PTA会長挨拶



PTA会長
池田 亜紀

四月にPTA・後援会の総会にて承認をいただき、今年度、札幌丘珠高等学校のPTA会長を務めさせていただくことになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

今年に入り、長く続いた苦しい時間も、やっと明るい兆しが見え、また皆と集い笑顔で向き合って活動出来るようになりましたね。PTA・後援会の活動も以前の活気を取り戻しつつあります。

前期の校内活動は、定期総会、進路研修会等無事に終え、学校祭のカフェ・ド・PTAでは人気のお店のパンや惣菜、おにぎりの販売で予想を超える沢山の来場者がありました。また北海道高等学校PTA連合会後志大会では小樽水産高等学校にて、他校の校長先生やPTA代表の方々と意見交換ができ、沢山の刺激を受けました。来年には丘珠高等学校が開校50周年を迎えます。丘珠高校の歴史を感じ、今日まで守ってきた下の方々への感謝の気持ちで、この大きな節目の周年行事を皆様と迎えられる事、幸せに思っています。いつも校内の活動に際し、沢山の保護者の皆様のご協力やご参加をいただいていることに心から感謝致します。

PTA活動を通して、子供達の学校での様子などに触れていただき、一緒に成長した姿を感じていただけたらと思います。先生方保護者、生徒達の架け橋になれるよう、これからも努力して参ります。

全道高P連後志大会参加報告

PTA副会長 平 知子

6月9日(金)・10日(土)の2日間、小樽市にて4年振りの対面型開催となる「第72回北海道高等学校PTA連合会後志大会」が参加者約600名で開催されました。本校からは池田会長、能登校長をはじめ、6名での参加となりました。

一日目はグランドパーク小樽を会場とした全体集会。北海道出身で「家裁の人」等の作品で知られる漫画家、魚戸おさむ氏を講師に招き、「漫画と絵本で描いた、食べること、生きること」と題した講演会を拝聴し、子育てにおける食事の大切さや小学校における「お弁当の日」を通じた食育の取組について学びました。

二日目は4会場に分かれての分科会。本校PTAは小樽水産高校を会場に、「学校・地域・PTAが協働した高校の魅力化発信について」をテーマに各校の特色ある取組の交流など、活発なグループディスカッションを行いました。

本校と同じ都市部の高校だけではなく、なかなか交流を持つことのない全道各地域の高校のPTA会員と意見交換ができ、とても充実した二日間となりました。



第72回全国高等学校PTA連合大会

宮城大会に参加して

PTA副会長 北山 珠恵

令和5年度、8月24日・25日の2日間、第72回全国高等学校PTA連合大会、宮城大会が開催されました。本校からは能登校長、池田会長、副会長3名計5名で参加となり、大会第1日目は「トークネットホール仙台」にて、仙台大学教授の氏家靖浩氏より講演をいただきました。演題は「落ち込む高校生に疲れた大人は何かできるか?」といったもので、パネリストとして他3名の語りも聞くことができました。特に宮城教育大学の現役学生である狩野美空さんの語りでは、ご自分の高校時代に経験された事やコロナ禍での苦しみ、母親との関係などをお話しくださり大変心に残りました。

氏家先生の講演は、レジリエンス教育についてのお話で、レジリエンスとは心理的な傷つきや落ち込みから立ち直る回復力や、弾力性だそうです。レジリエンスの力を育むポイントとして「聴くこと、話す事、関わる事、丁寧に向き合っていく事」が大切だと言ったことを学びました。

大会2日目は「仙台カメイアリーナ」にて宮城県広瀬高校出身のパフォーマーである「白A」さんたちのパフォーマンスを拝見し、甲子園から帰ってこれたばかりの仙台育英学園高等学校 硬式野球部監督、須江航氏より講演をいただきました。

須江監督の座右の銘は、「賛同の多いことは時代遅れ」だそうで、ご自分の人生のあゆみから人生は敗者復活戦だとおっしゃっていました。いつまでも挑戦と行動する姿を生徒たちに見せていく「多様性の正しい理解」を持つことが重要であるそうです。

このように2日間に渡りたくさん学びを得る事ができ、感謝しております。子供も大人も共に失敗から学び、お互いに認め合い、しなやかな強さで生き抜く力をつむいでいけたらいいなと思いました。



令和5年度PTA役員

会 長	池田 亜紀
副 会 長	田畑 雅久 北山 珠恵 鈴木 希恵 日向 麻実 辻 佳代子 平 知子 水田 聖子 三谷 千晴 玉井 みるみ 中谷 和恵 菊地 弘晃 坂野 夏美
会 計	
会 計 監 査	

令和5年度前期PTA・後援会活動日誌

5月 2日(火)	令和5年度PTA・後援会定期総会、学年・学級懇談会
5月19日(金)	第1回PTA・後援会役員会(新年度計画)
5月25日(木)	第1回PTA運営委員会(新年度計画)
5月26日(金)	高P連石狩支部総会
5月28日(金)	第1回PTA進路研修会
6月 7日(水)	第1回行事委員会
6月 9日(金)・10日(土)	第72回北海道高等学校PTA連合会大会(後志大会)
6月16日(金)	第2回行事委員会
6月23日(金)	開校50周年記念事業協議会準備委員会
6月29日(木)	第1回広報委員会
7月14日(金)	カフェ・ド・PTA(学校祭)会場設営・準備
7月15日(土)	カフェ・ド・PTA(学校祭)開店
7月28日(金)	開校50周年記念事業協議会設立総会
8月 4日(金)	第2回広報委員会
8月24日(木)・25日(金)	第72回全国高等学校PTA連合会大会(宮城大会)
9月上旬	PTA視察研修(後期に実施予定)
9月29日(金)	「丘珠高だより」発行(第126号)

カフェ・ド・PTA
より

行事委員長 田畑 雅久

コロナ対策も緩和され、通常通りの学校祭を無事に終えることができました。

我々役員も4年ぶりのカフェ・ド・PTAということで、誰も、何もわからない中、手探りで状態で企画案を出し合い、感染対策に努め、開催する事ができました。

当初、不安だらけでしたが、いざ蓋を開けてみると、仕入れた商品も完売するほどの大盛況でした。開催後、商品の仕入れの量や、各ブースの配置等、改善点も幾つか見つかり、次年度以降に繋げていけたらと思います。

子供たち、保護者の皆さん、教職員の皆さんで、一生懸命創りあげた丘珠祭は、笑顔に溢れ、とても充実したものとなりました。次年度も更に楽しい丘珠祭になるように願っています。

今回、協力して下さった保護者の皆さん、教職員の方々、本当にありがとうございました。今後も、子供達のために、できる限りの応援をしてあげたいと思っています。

前日準備！
ポスターもポップも
カラフルに



お安く
なってます～



お子さんも
一緒に



たくさんのご来店
ありがとうございました♪

お会計部門
買いすぎ注意！



軽食部門
おにぎり、お総菜、パン



生徒も、保護者、ご家族の皆さんも、多数来店



ドリンク部門



放送の技術を競つ「NHK杯全国高校放送コンテスト」。本校の放送局は朗読部門、テレビドキュメント部門、ラジオドキュメント部門に出場しました。全国1426の高校から、1万2600人余りが参加し、都道府県大会を勝ち抜いた代表による決勝が7月27日、東京渋谷のNHKホールでおこなわれました。朗読部門、テレビドキュメント部門は惜しくも準々決勝で敗退でしたが、ラジオドキュメント部門の作品「梓をはずして」が優勝に選ばれました。

放送局ラジオドキュメント責任者

藤原 理華

この度、NHK杯全国高校放送コンテストにて、札幌丘珠高校制作「梓をはずして」が優勝いたしました。このような評価をいただくことができたのは、取材を受けてくださった方々、アドバイスをしてくれ見守ってくれた柳谷先生や太田先生、川崎先生のご指導、そして学校から応援してくれた部員や先生方、生徒のみなさまのおかげです。本当にありがとうございました。

今回行われた大会は、他の高校との交流の場となり、見て聞いてたくさん学び、互いに高め合つことができたと思います。それと同時に、全国レベルの作品に圧倒されました。ですがこの経験や感覚をバネに自分たちの作品を研究し今後に生かしていきます。

放送局テレビドキュメント責任者

煙山 優希

今回テレビドキュメントは石狩地区大会2位、旭川の全道大会4位という結果で東京で行われたNHK杯全国高校放送コンテストに出場しました。

全国大会では、他校の作品を見て、それぞれの制作するにあたっての思いが伝わり、とても貴重な体験ができました。

準々決勝で敗退してしまいましたが、班員の皆さんとインタビューに協力してくださった先生・生徒の皆さん、地域の方々がいなければ制作できませんでした。本当にありがとうございました。



大 決勝
NHK

[illegible]

ステンドグラス



最優秀賞



教室発表



最優秀賞

クラス幕



最優秀賞

第47回 丘珠祭

ステージ発表



最優秀賞

昨年度までとは異なり、今年度からは新型コロナウイルスの影響をほとんど受けず丘珠祭を開催することができました。それに伴い、3年ぶりに一般公開を行うことができました。学校の中に地域の方々や家族、他校の生徒がいることで、これまでとは違う雰囲気の丘珠祭が、さらに特別なものとなりました。生徒たちは、他校の友人たちと交流することもあり、昨年度より楽しそうに丘珠祭期間を過ごしていました。また、今年も昨年度に引き続きキッチンカーを呼ぶことができました。今回は食券による事前購入だけでなく現金販売も行われ、生徒のみでなく一般の方々もキッチンカーの食品を楽しんでいました。

第四十九期 生徒会長

川崎 拓哉

初めての一般公開

私たち生徒会執行部としては、一般公開の実施に伴う関係、広報等の業務の増加はありましたが、今回のような形が本来の丘珠祭の姿でありその復活に携わることが出来たことを光栄に思います。久しぶりの一般公開で私たち役員にもわからないことが数多くありましたが、役員、一般生徒、教職員の方々と協力し、手探りながらも無事丘珠祭をやり遂げることが出来ました。振り返ってみると改善点も数多くありましたが、現状でできる最高の丘珠祭にすることができたと思います。私たちが今回「枠組み」を作ることができたと思うので、後輩たちに今回の経験を伝え、後輩たちにさらに改善を任せたいと思います。

今回丘珠祭が無事開催できましたのも、関わっていただいた全ての生徒、教職員、保護者、業者の方々のおかげです。ご協力ありがとうございました。

第47回 丘珠祭結果

総合部門

最優秀賞	3年7組
優秀賞	3年5組
第3位	3年2組

ステージ発表部門

第1位	3年7組
第2位	3年5組
第3位	3年2組

ステンドグラス部門

第1位	3年3組 3年7組
第3位	3年5組

クラス幕部門

第1位	3年7組
第2位	3年6組
第3位	3年3組

教室発表部門

第1位	3年7組
第2位	3年5組
第3位	3年1組

生徒審査1位 3年1組 2年7組 1年3組



ステンドグラス



クラス幕



先生紹介

①先生の初恋は？
②クラスへのメッセージ

2 学年



1組担任：松本 真吉（英語）

①思い出せないほどの遠い過去の記憶です。
②あと1年半の高校生活の中で、社会に出ても恥ずかしい学力と常識を身につけてください。そして、進路希望を実現させてください。



2組担任：北村 智弘（地歴公民）

①幼稚園の年長の時です。幼なじみのかわいらしい女の子でした。
②すべてが思い通りにはなりません。少しずつ我慢できれば、望ましい集団になると思います。



3組担任：竹林 美春（英語）

①小学校の同級生の男の子。運動が得意で、近くの席でよく笑わせてくれるような感じの人でした。
②学校祭の頑張りが印象に残っています。お互い未熟なところはありますが、支え合える集団になったら良いですね。



4組担任：垣中 寛久（国語）

①幼稚園の先生？中学校の時の同級生？記憶が曖昧で…。
②2年生は中だるみの学年と言われていますが、進路実現に向けて、学校を休まない、遅刻をしない、少しでも成績を上げるなど、今できることはしっかりやりましょう。



5組担任：小池 公章（地歴公民）

①小学校くらいだと思います。きっとときめいたんだと思います。
②少しずつ他者への配慮が行動に表れるようになってきました。見学旅行に向けてみんなが居心地の良い空間作りを心がけてください。



6組担任：川崎 恭子（英語）

①ラビット関根（関根勤）
②感謝の気持ちを忘れずに行動できるみなさんです。お互いに尊重し、認め合う最高の関係を築いてください。



7組担任：太田 永理（国語）

①小学1年生のときに同じクラスだった「だいすけくん」。かけっこが速くて、憧れました。
②いざというときに、「わたしたち、助け合えるかな。」と、話をしてほしい。学校祭、諦めないでよくがんばりましたね。



学年主任：水島 敬（理科）

①小中高の学生時代は毎年のように初恋していたように記憶しています。
②2年生は高校3年間の真ん中に位置します。文字通り丘珠高校の中心選手として学習も学校行事も特別活動も全力で挑む姿を見せてください。

1 学年



学年主任

1組担任：佐藤 貴之（保健体育）

①初恋の記憶さうはもうありませんが、小学校の頃から野球に恋してました。その思い、一途に46年！そしてこれからも！
② 1. 率先挨拶 2. 時間を守る 3. 思いやりのある行動以上の掟を守るべく、明るく元気に生活しています。担任として君たちの将来の幸せを願いつつ、今を全力で応援します。



2組担任：村上 祐樹（英語）

①同じ幼稚園だった「ともえちゃん」。優しくて気が合うかわいい子でした。
②「思いやりのある人になって欲しい」ただそれだけが、担任としての願いです。



3組担任：三浦 徹（地歴公民）

①先生の初恋
幼稚園の先生。未だに名前まで覚えています（笑）。
②これからは主体的に学ぶ姿勢が大切。間違いを恐れず意思表示を。
一人ひとりが幸せと感じられる生き方を一緒に探しましょう！



4組担任：早坂 範之（保健体育）

①小1のクラスメイトの「りかさん」
②授業は、けじめを持ってねばり強く取り組む。そして、学校行事は皆で協力し、思いっきり楽しむ！メリハリのある学校生活を送りましょう



5組担任：柳谷 論史（国語）

①小学1年生のとき、もう名前もわからない少女に初恋をしたような気がします。
②毎日元気に明るく。メリハリを持ってが合い言葉です。



6組担任：上村 恵理（地歴公民）

①中学校の卒業式でもらった制服の第二ボタン。甘酸っぱいなあ。
②「学習が学生の本分」だという軸をブレさせないことが大事！！



7組担任：末次 良平（数学）

①幼稚園のときの隣のクラスの女の子。名前はフルネームで覚えているものですね。
②ケジメと素直ささえあればいい。



着任者紹介



教頭
煙 恵成

この度、室蘭栄高校から着任いたしました。歴史と伝統ある本校に勤務できることに大きな喜びと責任を感じております。微力ではございますが、本校のさらなる発展に尽くしたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



児玉 春彦
(理科)

北海道倶知安高等学校から赴任しました。2年生の生物基礎と3年生の生物を担当しています。部活動は女子バレーボール部を担当しています。授業、部活動を通し、丘珠高校の皆さんの学校生活を応援したいと考えています。よろしくお願いいたします。



駒本 和音
(地歴公民)

真狩村立御保内小学校より赴任しました。教科は地歴公民で3年生の地理Bと現代社会を担当しています。部活動は男女ハンドボール部を担当しています。不慣れな点もあるかと思いますが、丘珠生の力になれるよう一生懸命努めてまいります。よろしくお願いいたします。



青木 凌太
(保健体育)

札幌市立栄中学校より赴任しました。教科は保健体育で3年生の体育と2年生の保健を担当しています。部活動は男子バドミントン部を担当しています。不慣れな点もあるかと思いますが、若さを活かして生徒と共に汗を流して活動していきます。よろしくお願いいたします。



事務長
尾家 征史

函館響学校より赴任いたしました。札幌丘珠高等学校の生徒の皆さんが学ぶ様子を間近に見ながら、より良い学校の運営に貢献できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



後藤 篤
(数学)

札幌厚別高校から赴任しました。久々の異動で緊張しています。1年の数Ⅰ・数A、2年の数Ⅱαを担当しています。数学嫌いの人を一人でも減らせるように、努力します。一緒に頑張りましょう。



河野 全恵
(英語)

千歳高校より赴任しました。英語は自らの視野と可能性を広げるツールです。生徒の皆さんが学校での様々な学びを自分の人間力にできるよう、精一杯応援したいと思っています。



木村 海斗
(数学)

旭川市立千代田小学校より赴任しました。1年の数Ⅰ、3年の数学Ⅰ・Aを担当しています。数学が少しでも好きになってもらえるように努力します。よろしくお願いいたします。



堀内 明彦
(英語)

東陵高校より赴任しました。英語は他の国の文化や習慣を学びながら、自分自身を振り返ることによって自分自身の長所を見つけ伸ばし得るツールです。皆さん頑張りましょう。



事務長
尾家 征史

函館響学校より赴任いたしました。札幌丘珠高等学校の生徒の皆さんが学ぶ様子を間近に見ながら、より良い学校の運営に貢献できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



クラスの

3 学年



1組担任：道下 昇 (英語)

①初恋の人は奥さんと自分に言い聞かせて、これからも苦難を乗り越える所存です。
②以前にもどこかに書きましたが、「馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。」英国のことわざです。進路決定やこれからの人生をそれぞれの人が力強く切り開いて行ってください。



2組担任：久保田 歩 (国語)

①『暴れん坊将軍』の松平健様が永遠に私の白馬の王子様です。
②学校の教室発表のテーマ「七星高照」。訳は「北斗七星が高く輝く」。中国で受験生を応援する時の言葉です。七つのラッキースターが38人全員の頭上高く輝きますように！



3組担任：島田美紀子 (書道)

①幼稚園の時に近所に越してきたひでや君。近所に子供が少なかったのと一緒に幼稚園に通えるのが嬉しかったのだと思います。1年めせず引越していきましたが転居先の「比布」がしばらくの間「聖地」になりました。ピップエレキパンのCMで有名になりびっくり。
②互いの進路活動を応援し合い、助け合える仲間であってほしいと願っています。人生最後のクラスになる人もいます。誰もが居心地よいクラスだったと思えるようにしていきましょう。



4組担任：原田 宏明 (地歴公民)

①何十年も前の話で顔も名前も思い出せませんが、多分、大樹の幼稚園時代だと思います。
②学校祭それぞれの分野で頑張ってくれました。ありがとう。あとは君たちの進路が希望通りに実現ができるように最後まで諦めずに努力してください。頑張れ！



5組担任：井上 裕貴 (保健体育)

①保育園の時。みんなから人気があったなおこちゃん。今考えるとなぜ好きだったのかあまりよくわかりません。みんなにつられて好きになったような。小さい時はそんなものかもしれません。小学校の時好きだった子も、息子の初恋相手もおこちゃん(別人)。
②赴任早々何もわからない私に丘珠高校があるを教えてくださいました。学校祭では大変なことあったけど、折り合いをつけて一丸となって進んでくれました。沢山のありがとうをみんなに送ります。今後はみんなの進路実現を果して、卒業式の時にありがとうを返してもらえよう頑張ります！



6組担任：佐々木博章 (理科)

①同じ幼稚園のおみちゃんです。高校時代に偶然、街で見かけたら、ヤンキーになってました(笑)
②学校祭、お疲れ様でした！さあ、いよいよ進路活動が本格的になってきてます！全員進路決定目指して頑張りましょう！受験はチーム戦です！頑張れ、佐々木組！



7組担任：鹿野 正行 (英語)

①小3のクラスに色白で清楚なお嬢様系の子がいました。それ以来、そのタイプの子に会うと、ドキドキしますね。
②学校祭の結果(完全優勝)は期待以上のものでした。丘珠高校でのよい思い出になることを願っています。ひと回り大人になった姿をこれからの授業やそれぞれの進路活動で見せてください。



学年主任：笠井 篤司 (数学)

①保育園(3歳?)で、みはちゃんでした。あと・・・(違いますね)。
②最後に最高な学校祭が経験できてみんなは幸せですね！この勢いで進路決定まで走り抜けてください！全力で応援しています！

2023 年春の進路状況 (合格・内定者数)

国公立大学		私立大学	
北海道大学	1(1)	北海学園大学	13(4)
		北星学園大学	6
短期大学		北海道商科大学	4
北海道武蔵女子短期大学	1	札幌学院大学	20(9)
北星学園大学短期大学部	1	札幌大学	27(10)
札幌大谷大学短期大学部	1	北海道科学大学	9
光塩女子短期大学	2	日本医療大学	6
札幌国際大学短期大学部	4	北海道医療大学	7
専修・各種学校・その他		東海大学	1
		札幌国際大学	4
看護学校	8	北翔大学	3
専門学校・その他	110	藤女子大学	1
		札幌保健医療大学	2
就 職		北海道情報大学	6
公務員	14	北海道文教大学	6
民間就職	32	星槎道都大学	4
		札幌大谷大学	3
		天理大学	2

* () の数字は過年度生

「早期の目標設定・実践・継続」

進路指導部長 山中勇人

2023年夏、「轟かせ 魂の鼓動 北の大地へ 大空へ」をスローガンに全国高校総体が36年ぶりに北海道で開催され、全国からおおよそ3万人以上の選手が競技に参加し熱戦を繰り広げました。

この大会では、競技に参加「する」、そして競技を「見る」のみならず、スポーツを「支える」立場から、多くの高校生が主体性をもって大会の準備・運営に創意工夫をもって携わりました。この「高校生活動」によって、多くの感動と達成感を得た素晴らしい大会となりました。高校生の手づくり上げた大会は、まさに、今求められている「主体性をもって学ぶ場」、「課題設定と課題解決に向けた取り組みの場」となったことと思います。

同じく夏には高卒求人票の公開がはじまり、例年より多くの企業が直接求人票を届

け説明に訪れています。コロナ禍の影響で採用をひかえていた企業が求人再開したことに加え、これまで大学生しか採用しなかった企業が新たに高校生の採用をはじめた状況が見受けられます。多くの企業は「人物本位」での人材集めをしており、知識を求めつつも「学ぶ姿勢（謙虚さや素直さ）」や「人とのかわり（コミュニケーション）」を大事にしている企業が多いと感じます。

進学についても、令和2年度以降の新しい入試制度が進む中、従来の一般入試を実施しつつも、「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」の枠を設け、年内合格の割合は大きく増加傾向にあると言えます。これまでの学力だけを問う選抜方式から、基礎・基本の知識を備えていることに加え、主体的に学ぶ態度や知識・技能を活用して課題を解決する力がはかられます。1月以降の一般入試に向けた受験勉強に取り組みつつ、学習以外の諸活動（部活動、生徒会活動、ボランティア活動、探究活動など）を早期

より継続して取り組み、その積み重ねが進路実現に向けての大きな強みとなるものと考えます。

現在の日本は「少子高齢化」に伴う、労働力の確保や労働生産性の向上を目指す「働き方改革」が進展しています。また、これと同時に「学び方改革」の重要性が指摘されています。「学び方改革」の主なポイントとしては、「主体的に学ぶ」、「学び方の習得」、「学び続ける」の三点があげられます。人生100年時代と言われる中で、進学・就職については、これら、今の社会が求めている項目を理解し、主体性と課題意識をもって日々の学習・諸活動に取り組み、積み上げていくことが大切であると、再度認識させられます。

最後になりますが、今年春には「進路のしおり」の冊子を全生徒へ配付しました。冊子の中には、上級学校の入試制度に関する情報、本校卒業生の進路決定状況、卒業生の合格体験記など詳しく載せておりますので、ご一読いただけると幸いです。

後期の主な予定

10月 3日(火)	後期始業式
10月 6日(金)	校内マラソン大会
10月14日(土)	オーブンスクール
10月27日(金)	第2回PTA・後援会役員会・運営委員会 (中間反省)
12月 9日(土)	見学旅行(沖縄 2年生)～12日(火)
12月15日(金)	第1回役員選考委員会
12月20日(水)	卒業考査(3年生)～25日(月)
12月26日(火)	冬季休業～1月11日(木) 1・2月 スキー授業
2月19日(月)	後期期末考査～22日(木)
2月21日(水)	学校保健委員会
3月 1日(金)	第47回卒業証書授与式 「丘珠高だより」発行(第127号)
3月 8日(金)	第3回PTA・後援会役員会・運営委員会 (年度末反省・次年度方針) 3月22日(金) 終業式・離任式

編集後記

令和5年度は、3年間続いた「コロナ禍」からあけ、日常が取り戻されつつあります。

新しい生活様式、ソーシャルディスタンス、オンライン、リモート、アルコール消毒、マスク生活・・・あげるときりがありませんが、本当に大変な3年間でした。

そんな中、先生方のご協力により無事実施された宿泊研修をはじめ、野球の全校応援、学校祭など、高校生活の様子が変わりやすいような広報誌をつくろうと活動してまいりました。

時間的、空間的な制約が低減される環境下において、生徒たちの活躍がさらに飛躍することを期待しております。

このたびは、先生方や保護者の皆様にご尽力いただいたおかげで、丘珠高校だより126号を発行する運びとなりました。子供たちが楽しんでいる学校生活や、PTA活動の記録をたくさん写真とともにご覧いただけたと思います。広報係の保護者の一人として、丘珠高校の良さ、楽しさが伝わる広報誌になっていると感じました。多くの方にお楽しみいただけたと思います。末尾になりましたが、今回協力いただきました先生、保護者の皆様には心より感謝を申し上げます。

(広報副委員長 玉井まるみ)